

社員の皆様へのメッセージ

株式会社イナテック

代表取締役社長 稲垣良次

2010.7
203

第47期イナテック決算報告

4月末で47期が終了いたしました。結果的には約8000万円の黒字でした。社員の皆さんの努力もあり、お陰様で第46期6億7000万円赤字からしますと約7億円頑張った事になります。

今後、まだやり残した事を愚直にやること、工程内不良率につきましてはAW様レベルの0.05%を目指します。

また、AW様での既受入不良がAW協会の中でも3ヶ年連続“0”PPMという素晴らしい実績の小川工業様があります。イナテックもAW様での不良ゼロを1日でも早く達成してAW様に感動していただけるイナテックにしま

すので皆さんの協力をお願いいたします。

整理・整頓

いるものといらないものに区分し、いるものは使いやすい状態にしておく活動です。私が毎月全部署のチェック・フォローを実施させていただいています。製造部門は大分良くなっており、次の3定(定品・定位・定量)にレベルを上げていきます。

しかしイナテックの間接部門の感度、反応がニブイ！直接製造は整理・整頓をすれば即効果が上がり問題点も見えるようになってきますが、ex、品証がいくら測定具の在庫を整理しても直接的には効果が出ない事を認識すべきなんです。間接の整理・整頓はスピードが勝負です。そこから製造間接がどれだけ製造直接に応援できるかが大切なんです。製造間接は書類を作っているだけでは儲けにつながりません。手取り早いのは製造間接が直接物を作るなり、改善するしかないという事を心してください。

生産管理Gも“空箱”の管理ばかりしていて

儲かるわけがありません。空箱整理は瞬時にして製品・材料仕掛等の実在庫を低減することしかありません。それが生管の使命なんです。

工場技術Gもノーアイディアだったらとりあえず直接製造の残業を減らすために手伝うべきなんです。製造欠勤者が出たならば製造ラインを止めないためにはグズグズ言わず即応援する事が初動なんです。

また、販売・管理における人件費は完全に固定費です。売上げが増えても固定間接人件費は工夫をして減らす努力をすることが使命です。皆で協力し合いアイデアを出し合いスリムで強靱な体質にいたしますので宜しくお願いいたします。

「緊急ではないが重要な仕事」

アローフィールドの矢野先生のご指導の中で、『時間を大切に使いなさい』という御言葉をいただき「実践するドラッカー」を読んで『時間づくり』の勉強を進めていただきました。

その『実践するドラッカー』の行動編の中

で・・・

成果が横這い、あるいは成果が落ちている人の時間の使い方を見ると、不思議と共通点があることに気づきます。それは数年前の時間の使い方と現在の時間の使い方がほとんど同じだと言っています。

これらの人は、1時間当たりのアウトプットの質を高めること、つまり仕事の重要性のレベルを上げる事をほとんどしていませんでした。目先の事に追われ、重要なこと、すべき事を後回しにしているのです。

- 今行つべき事は何か
- 重要な事は何か
- その活動は成果を生んでいるか
- その活動は効率が良いか
- その活動は情性ではないか
- その活動は重要なものか

廃棄こそ時間確保の唯一の手段です。やめる事は未来を作るうえで不可欠です・・・

以上のような発想が大切だと身にしみて感じました。昔、愛工大の野村教授にも「緊急ではないが重要な仕事」を後回しにしてい

ませんか。とご指導いただいた事を思い出しました。日々の不良対策に翻弄されつ放しだと根元の品質保証や安全体制に大きな落とし穴が存在するということを決して忘れてはならないということです。